

長久手古戦場記念館 秋季企画展

長久手で戦った

戦国のもののふ「鬼武蔵」

森長可^{ながよし}と家族の物語

戦国を
生きた
家族

森
元
弟

兄
森
長可^{ながよし}

2026年
9/19(土) ▶ 11/29(日)

長久手古戦場記念館
企画展示室

●開館時間: 9:00~17:00
(展示室入場は16:30まで)

●休館日: 火曜日

※ただし9/22(火・休)は開館、9/24(木)は休館
11/3(火・祝)は開館し、翌日11/4(水)が休館

●入館料: 一般600円、中学生以下無料

主催: 長久手古戦場記念館

指定管理者: 株式会社トヨタエンタプライズ

弟
森
忠政^{ただまさ}

「長久手古戦場」屏風(復元模写、原本は徳川美術館蔵)



兄
森長可

▲森長可像(岐阜・可成寺蔵)

秋季企画展 森兄弟

— 戦国を生きた家族 —



弟
森忠政

▲森忠政木像(岡山・本源寺蔵)

戦国時代には様々なドラマを持つ「兄弟」がいます。森長可・忠政ら「森兄弟」のほかに小牧・長久手の戦い(1584)において戦死した「木下兄弟(兄・木下助左衛門祐久、弟・木下勘解由利匡)」もその例です。本展では、森長可(1558～1584)とその弟・忠政(1570～1634)について長可が忠政など家族について記した「遺書」を読み解き、長可が身につけたものをひとつの手がかりとしつつ、戦国時代の兄弟関係について探ります。

森忠政とは…?

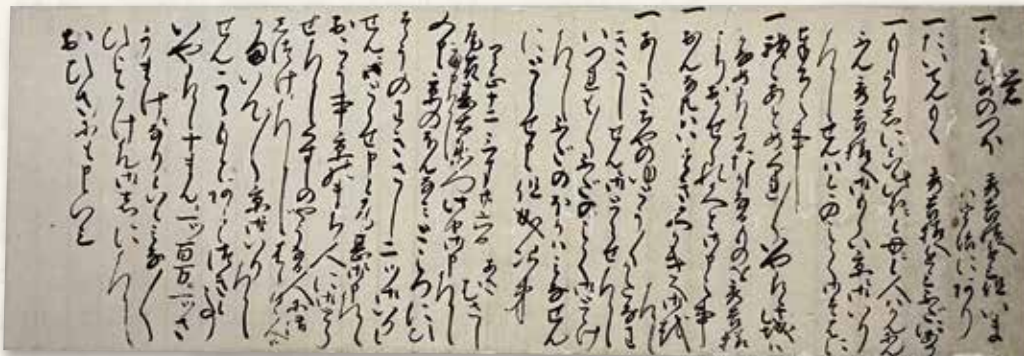
長可の末弟。
長可の戦死後、豊臣秀吉・徳川家康に仕え、美作津山藩初代藩主となった

※森忠政木像は写真のみの展示です。

森家の存続を願う長可の意志

森長可遺書

▼森長可覚書(複製)



上の史料は、長久手での戦いを前に、戦死の可能性を強く感じた森長可が、自分の戦死後に家族へ求めることを記したもので、戦乱に明け暮れた長可の意思を感じさせます。

武蔵塚【国指定史跡】



森長可の戦死地「武蔵塚」は当館より徒歩約5分



忠政が存続させた
森家の歴史書

森家先代実録

(赤穂大石神社所蔵)

会期中イベント等
開催します!

詳しくは記念館HP、SNS等をご覧ください。

(写真提供: 赤穂大石神社、本源寺)



長可愛用の槍
「人間無骨」写し
▲森長可所用十文字槍(赤穂大石神社所蔵)

(刀剣撮像: 中村慧)



長久手古戦場記念館

NAGAKUTE MEMORIAL 1584

【アクセス/公共交通機関】

リニモ東部丘陵線「長久手古戦場」駅下車、北西へ徒歩約3分
名鉄バス「長久手古戦場」駅下車、北西へ徒歩約3分

西側駐車場は9月以降ご利用いただけません。当館へのお越しは公共交通機関をご利用頂くようお願いいたします。

〒480-1121 愛知県長久手市武蔵塚204
TEL:0561-41-8338 FAX:0561-41-8335

■史跡案内

一般社団法人長久手市郷土史研究会の協力を得て、史跡案内を実施しています。ご希望の方は、当館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みいただけます。



ホームページは
こちらから



Instagramは
こちらから



X(旧ツイッター)は
こちらから